

# ハイデガー・フォーラム第十七回大会・総会配布用会計資料

(2022年9月14日作成、会計担当：西山達也、田村未希 資料作成補助：丸山文隆)

## 1. ハイデガー・フォーラム会計報告

### 2021年度会計の動き

(会計計算の対象期間：2021年4月1日～2022年3月31日)

#### ◎収入の部

##### a. 一般人参加費

・一日目収集分0円 (=1,000円×0名)

・二日目収集分0円 (=1,000円×0名)

計 0 円 (二日間延べ参加人数 0 名)

##### b. 賛同人参加費

計 140,000円 (=2,000円×70名)

##### c. Heidegger-Forum紙媒体販売上げ

計 0円 (=1,000円×0冊)

∴2021年度収入合計 140,000円 (=a+b+c=α)

#### ◎支出の部

p. 事務費 0 円 (領収書、封筒、文具代)

q. 雑費 0 円 (ゆうちょ銀行手数料)

r. ポスターデザイン代 30,580 円

s. 通信費 3,452 円 (サーバーレンタル料)

t. ポスター印刷費 26,650 円

u. ジャーナル印刷費 190,340 円

∴2021年度支出合計 251,022 円 (=p+q+r+s+t+u=β)

○2021年度の収支決算は、

−111,022 円 (=α−β)

⇒2021年3月31日残高 313,429 円と合わせると、

= 202,407 円 (2022年3月31日時点)

(=預金・現金残高 132,407 円+定額貯金70,000円+振替口座0円)

☆この202,407円が、2022年3月31日現在の残金であり、第十七回大会に向けての資金である。

\*新型コロナウイルスの流行が依然として収束しなかったため第十六回大会もオンラインでの開催となり、一般参加者からは参加費を集めずに行うこととなった。そのためコロナ禍以前に比して収入は低くとどまることとなったが、ポスター発送を行わなかったこと等で支出も少ないままであり、結果的に大きな赤字

を出すことなく済ませることができた。今後の状況や大会開催のあり方次第ではあるが、収入・支出のバランスについてもさらに検討の余地があると思われる。

(なお、「ジャーナル印刷費：190,340円」のうち92,200円は、2020年度分のジャーナル印刷費であり、支払いが会計年度をまたいでしまったため便宜上2021年度会計に算入したものである。この92,200円を差し引いた実質上の「2021年度の収支決算」は-18,822円となる。)

## 2. ハイデガー・フォーラム渡邊基金会計報告

### 2021年度末までの「ハイデガー・フォーラム渡邊基金」の収支動向 (2021年2月22日～2022年3月31日)

#### I. 収入の部

1. 繰越金 17,449,142円 (2021年度の残金)
2. 預金利息 221円
3. 寄付 0円

1～3の収入合計 17,449,363円 (=A)

#### II. 支出の部

- p. 事務費 107,865円  
(「フォーラム渡邊賞」賞金、トロフィー代等)
- q. 諸経費 465,295円  
(ハイデガー・フォーラム依頼講演謝礼金 75,495円、ジャーナル郵送費 5,450円、『ハイデガー事典』献本代金 384,350円)
- r. 人件費 151,474円  
(『Heidegger-Forum』編集手当 80,990円、ジャーナル記事執筆協力者謝礼 20,209円、ハイデガー・フォーラム事務手当 30,000円、『ハイデガー事典』編集補助費 20,275円)

∴「基金」支出合計 (=p+q+r) 724,634円 (=B)

#### III. 2021年度終了時の残金

=収入合計 17,449,363円 (A) - 支出合計 724,634円 (B)  
= 16,724,729円 (2022年3月31日時点)  
(=預金残高 16,642,446円+現金 82,283円)